

令和元年度 第4回坂東市地域公共交通会議 議事録

1. 日時

令和2年2月12日（水） 午後2時00分～午後3時00分

2. 場所

坂東市役所 3階大会議室

3. 会議内容

(1) 開会

(2) 委員委嘱

(3) あいさつ

(4) 議事

1) 審議第1号 坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について

①パブリック・コメントの結果について

②前回からの変更点について

③概要版について

2) 審議第2号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生
限定バスお試し乗車券の実施について

3) 報告第1号 デマンドタクシー車両の入れ替えについて

(5) その他

(6) 閉会

4. 出席者（順不同・敬称略）

○出席者 19名（うち代理出席2名） 別紙の通り

○欠席者 11名

○事務局 坂東市企画課 3名

○傍聴者：0名 随行者：0名 オブザーバー：0名

5. 議事要旨

（1）審議第1号 坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について

- ・坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について、パブリック・コメントの結果、前回からの変更点、概要版を説明した。
- ・坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について承認された。

（2）審議第2号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について

- ・守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について説明した。
- ・守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について承認された。

（3）報告第1号 デマンドタクシー車両の入れ替えについて

- ・デマンドタクシー「市内便」の車両の入れ替えについて説明した。

（4）その他

- ・地域公共交通網形成計画は、3月中に国へ提出する。
- ・各団体の皆様には、公共交通の乗車体験についてご検討をお願いし、事務局にお声掛けいただきたい。
- ・コミュニティバス坂東号の無料乗車券は、3月16日（月）～31日（火）まで実施する。広報坂東2月号に掲載し、コピーして何回でも使える。各団体の皆様には周知協力をお願いしたい。
- ・次年度の会議は6月頃の開催を予定している。

6. 協議内容

(1) 審議第1号 坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について

- 会長 : ・事務局から坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について、パブリック・コメントの結果、前回からの変更点、概要版の説明があった。
- ・第3回の会議で承認された計画案について、パブリック・コメントの募集により意見を募ったが、意見は寄せられなかった。
 - ・文言の修正や時点修正、前回の意見を踏まえた修正を行った。特に今回変更した点について質問はあるか。
 - ・概要版は、計画書の中身を抽出し、整理した。詳細は計画書を見ることになるが、計画書を多くの方に配布するのは難しいため、概要版を活用していく。
- 委員 : ・パブリック・コメントで意見が寄せられなかったのは残念である。市では他にもパブリック・コメントをやる機会があると思うが、意見が寄せられないことが多いのか。
- 事務局 : ・パブリック・コメント手続きは企画課が担当している。2年前の総合計画についてのパブリック・コメントでは、複数の意見をいただいたが、意見が寄せられないことが多い。
- ・ホームページや広報紙でパブリック・コメントの実施をお知らせしているが、周知方法や設置場所等について検討の余地があるという意見が庁内で出ている。
- 委員 : ・意見が寄せられないことは課題である。今後、意見をお寄せいただきやすい環境となるように、周知方法等を改善していきたいと考えている。
- 委員 : ・パブリック・コメントは大事である。坂東まちづくり(株)でアンケートをすることがあるが、あまり集まらない。
- ・意見を集める方法は2つある。1つ目は回答に手間がかからないようにすることである。選択肢に丸を付けるだけだと手間がかからない。2つ目は回答する機会や環境を整えることである。セミナーや会議の参加者からアンケートを集める方が、ホームページなどで集めるよりも良い。細かい意見が知りたいところもあると思うが、回答は集まると思う。パブリック・コメントの実施を知らないことが一番良くない。
- 会長 : ・パブリック・コメントで意見が集まるように、今後、方法論も含めて検討することが必要である。
- 委員 : ・「坂東市高齢者運転免許証自主返納等支援事業」で支援する公共交通利用券の15,000円という金額については、何か基準があって決めたのか。
- 事務局 : ・近隣の市町村において、1万円から2万円の間の金額が多いことから、15,000円とした。
- 委員 : ・坂東市は車を使って移動する人が多い。近隣の市には駅がある。状況が違うが15,000円で足りるのか。私は公共交通を利用しないので15,000円が適正かわからないが確認してほしい。
- 会長 : ・支援するのは免許証返納時の1回のみであり、免許証返納のきっかけとなるこ

とを目的とした事業である。

- ・免許証返納者への支援について、県内では約半数の自治体に取り組んでいるので、坂東市も取り組む。

事務局 : ・前回会議で挙げた質問に回答する。普通免許についてくる農業用トラクター等を運転するための小型特殊免許を残して返納することができるのかという質問であった。これはできる。下位の免許だけを残すことは可能である。

委員 : ・大型免許を持っている65歳以上の人が大型免許だけ返納した際にも、坂東市高齢者運転免許証自主返納等支援事業の15,000円分の公共交通利用券はもらえるのか。

事務局 : ・免許証をすべて返納した方が対象となる。

委員 : ・15,000円分の公共交通利用券は、福祉タクシーの利用券のような740円券で配布するのか。それともデマンドタクシーの利用券のような300円券で配布するのか。

事務局 : ・福祉タクシーでは初乗り料金分のみの補助をしている。高齢者運転免許証自主返納等支援事業の共通チケットは、バスの回数券のように1枚100円の券を束にして渡す。支払う金額に合わせて利用する。今までよりも使い勝手の良い形に変える。ただし、お釣りが出ないことは了承してほしい。

会長 : ・坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について承認いただけるか。

全員 : ・異議なし。

会長 : ・坂東市地域公共交通網形成計画（最終案）について承認する。

(2) 審議第2号 守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について

会長 : ・事務局から守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について説明があった。

委員代理 : ・茨城県内の高等学校、高等専門学校に、県立の特別支援学校高等部も加えて配布したいと考えている。特別支援学校の学生にも、社会性を身に付けるためにバスを利用する学生がいると聞いている。

会長 : ・バスに乗るきっかけ作りとして良い取組だと思う。

事務局 : ・バスお試し乗車券利用者分の減収は、市の負担とし、運行事業者への委託料の精算時に調整する。

委員 : ・有効期間が3月18日（水）から4月13日（月）となっているが、テストでやってみるとのことか。

事務局 : ・3月13日に県立高校の合格発表があり、3月19日から入学説明会が始まる。私立高校は2月の中旬から入学説明会を行っているところもある。入学説明会や、春休み中に試しに学校へ行ってみる際に利用できるようにしている。

- ・お試し乗車券がバスの定期券の利用につながると良い。

委員 : ・総配布数と想定した利用枚数で、市の負担額のシミュレーションをした方が良

い。

- 委員代理：・別紙の裏面にこれまでの県全体の配布実績を載せている。
・平成30年度は25,307人に配布し、1,893枚の利用があった。
- 委員：・お試し乗車券は定期券の購入につなげることが目的か。バスを便利に使ってもらえるかという調査か。
- 委員代理：・定期券の購入につながるが一番だが、例えば普段自転車通学している学生に、雨の日にバスを利用してもらい、バスも使えるんだと思ってもらうことも目的としている。利用促進の一つである。
- 会長：・短い期間だがお試し乗車券でバスを利用してもらえると良い。
・守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について承認いただけるか。
- 全員：・異議なし。
- 会長：・守谷駅直行型路線バス「直行坂東号」の令和2年度高校新入生限定バスお試し乗車券の実施について承認する。

(3) 報告第1号 デマンドタクシー車両の入れ替えについて

- 会長：・事務局からデマンドタクシー「市内便」の車両の入れ替えについて説明があった。
・現在使っているハイエース車両は中古車両で運行をスタートしており、修理することも多くなっている。今のままでは運行が難しい。そのため、安全・安心の観点からも車両を入れ替え、利便性向上に努めていきたい。

(4) その他

- 事務局：・地域公共交通網形成計画は、3月中に国へ提出する。
・各団体の皆様には、公共交通の乗車体験についてご検討をお願いし、事務局にお声掛けいただきたい。
・コミュニティバス坂東号の無料乗車券は、3月16日(月)～31日(火)まで実施する。利用してほしい。
- 委員：・コミュニティバス坂東号の無料乗車券について補足する。無料乗車券は広報坂東2月号に掲載する。コピーして何回でも使える。
・以前実施した際は利用が少なかった。各団体でも周知してほしい。
・来年度実施するコミュニティバスの再編案につなげていきたい。
- 委員：・今後交通弱者は増えると思う。タクシー業界だけでは賄いきれない。自家用有償運送の有効活用を検討してほしい。
・自家用有償運送の活用では道路交通法等の規制が課題になると思うが、横の連携を図り、困っている市町村で協議し、国へ陳情し、道路交通法を改正する意気込みでやってほしい。
- 事務局：・勉強し、検討する。

- 委員代理：・自家用有償運送制度があり、常陸太田市等で運行している。県も事例を知っている。情報提供し橋渡しをするので活用してほしい。
- 事務局：・今年度は4回の会議開催において、ご協議ありがとうございました。
- ・次年度の会議は6月頃の開催を予定している。

以上

令和元年度 第4回坂東市地域公共交通会議 出席者名簿

(順不同・敬称略)

区分	所 属 等	役 職 等	氏 名	備 考	
1	関東鉄道株式会社	常務取締役兼自動車部長	武藤 成一	代理：自動車部営業課 課長補佐 塩入 貴光	
2	(1) 茨城急行自動車株式会社	総務部長	伊藤 友己	欠席	
3	株式会社昭和観光自動車	代表取締役社長	小林 昭仁		
4	(2) 中山観光自動車株式会社	代表取締役	中山 茂		
5	(3) 有限会社ナガツマ交通	代表取締役	長妻 凡夫		
6	(4) 一般社団法人茨城県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	服部 透	欠席	
7	(5) 一般社団法人茨城県バス協会	専務理事	澤島 政志		
8	(6) 坂東市商工会	会長	上坂 理一		
9		岩井モール商店街連合会	会長	関根 儀一	欠席
10		坂東市商工会沓掛支部	支部長	猪瀬 忠男	欠席
11		坂東市区長会連合会	会長	中村 洋一	欠席
12		坂東市シニアクラブ連合会	会長	中山 邦志	
13		ぱんどう市女性団体協議会	会長	服部 恵子	欠席
14		一般社団法人坂東青年会議所	理事長	滝本 将博	
15		境地区交通安全協会坂東支部	副支部長	木村 藤一	欠席
16		坂東市交通安全母の会	会長	森平 道子	
17		坂東市PTA連絡協議会	会長	石塚 孝	欠席
18		坂東市社会福祉協議会	事務局長	鈴木 康夫	
19		坂東市民生委員児童委員協議会	岩井地区民生委員児童委員協議会副会長	相野谷 洋子	
20	(7) 国土交通省関東運輸局茨城運輸支局	首席運輸企画専門官	皆川 誠司	欠席	
21	(8) 関東鉄道株式会社労働組合	執行委員	谷田部 正利		
22	(9) 筑波大学システム情報系	教授	鈴木 勉	欠席	
23		茨城県境工事事務所道路管理課	課長	東ヶ崎 祐二	
24		茨城県境警察署	交通課長	大郷 秀樹	
25	(10) 茨城県政策企画部交通局交通政策課	課長	久保田 博文	代理：茨城県交通政策課 副参事 酒井 雄一	
26	(12) 医療法人社団仁二会 高橋医院	院長	許斐 康司	欠席	
27		つくばハイテクパークいわい連絡協議会	会長	末利 忠	
28		坂東まちづくり株式会社	代表取締役	圓崎 一也	
29	会長 坂東市	副市長	鈴木 清		
30	(11) 坂東市	企画部長	金久保 吉之		